

2 セットアップガイド SA-PCI2

B-MANU200121-03
M-MANU200129-02

1 インストールする

まだ本製品をパソコンに取り付けないでください

注意 「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。

ドライバソフトをインストールします。本製品をWindowsで使用できるようにします。

- 1 本製品を取り付けていない状態で、パソコンの電源を入れます。
- 2 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 3 下記の画面が表示されます。「ドライバ」ボタンをクリックします。



①クリック

以下の画面が表示された場合は、「MENU.EXEの実行」をクリックしてください。



クリック

- 4 [次へ]をクリックします。



クリック

- 5 [完了]をクリックします。



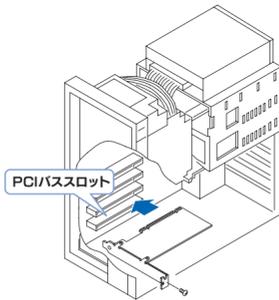
クリック

以上でドライバソフトのインストールは終了です。

2 パソコンに取り付ける

●本製品をパソコンに取り付けます。

- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。
- 3 パソコンのカバーを取り外します。パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 4 パソコンのPCIバススロットのカバーを取り外します。PCIバススロットカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 5 本製品をPCIバススロットに取り付けます。
 - ①本製品をPCIバススロットに取り付けます。
 - ②本製品が固定されるように、ネジでとめます。ネジはパソコンに付属のものをお使いください。



PCIバススロット

注意 ●あとでハードディスクを接続するため、ここでパソコンのカバーを戻す必要はありません。ハードディスクを接続したあとにお戻しください。

●ハードディスクへのOSの再セットアップなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーではお受け致しかねます。ご了承ください。

以上で取り付けは終了です。

3 取り付けを確認する

●Windows上で本製品の取り付けを確認します。

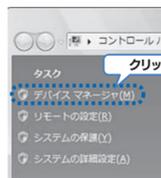
- 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

注意 ●「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、以下の手順でアカウントの変更を行ってください。

- ①[スタート]->[ログオン]を順にクリックします。
- ②[ユーザーの切り替え]をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

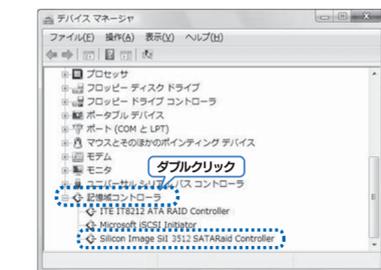
- 2 [スタート]-[コンピュータ(マイコンピュータ)]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。※Windows 2000の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックします。
- 3 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。(Windows Server 2008/Vista®の場合) ※Windows Server 2003/XP/2000の場合は、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。



クリック

- 4 [記憶域コントローラ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。 ※Windows Server 2003/XP/2000の場合は、「SCSIとRAIDコントローラ」をダブルクリックします。

[Silicon Image SiI 3512 SATA RAID Controller]



上記が表示されていれば本製品は使用できます。

4 ハードディスクを接続する

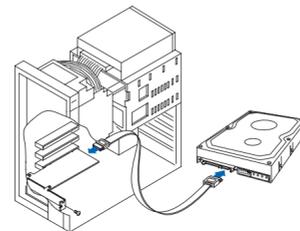
ここでは、本製品とハードディスクの接続について説明します。

注意 ●本書では、ハードディスクの設定、フォーマット方法その他に関しては説明していません。詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

ハードディスクを接続する

本製品には、ハードディスクを接続するためのコネクタが2つあります。プライマリ-Serial ATAコネクタから添付のケーブルでハードディスクを接続してください。

- 1 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
- 2 プライマリ-Serial ATAコネクタに添付のケーブルで、本製品とハードディスクを接続します。ハードディスクには、パソコン内部の電源ケーブル※も接続します。 ※Serial ATA/HARDディスクの電源は、パソコン内部のSerial ATA用電源ケーブルに接続して使用するものがあります。パソコン内部にSerial ATA用電源ケーブルがない場合は、市販の「Serial ATA電源変換ケーブル」(パソコン内部の通常の4ピンタイプの電源コネクタをSerial ATA用の電源コネクタに変換するもの)を別途ご購入ください。



- 3 ハードディスクをパソコンに固定します。ハードディスク添付のネジをお使いください。
- 4 RAIDを構築する場合など、2台のハードディスクをお使いになる場合は、セカンダリー-Serial ATAコネクタに同様に接続してください。
- 5 取り外していたパソコンのカバーやケーブルを元に戻します。以上ですべての作業は終了です。ハードディスクをご利用ください。ただし、ハードディスクがフォーマットされていない場合は、一度フォーマットする必要があります。※詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

また、RAIDを構築したい場合は、別冊【③リファレンス編】を参照してください。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど

<http://www.iodata.jp/support/>

- 本製品取り付け後、パソコンが起動しない
- 本製品が動作しない
- [デバイスマネージャ]で"!マークがついている

対処 ●本製品が正しく取り付けられているかご確認ください。パソコンの電源を切り、再度本製品に接続したハードディスクのSerial ATAケーブルや電源ケーブルが取り付けられているか、外れていないかを確認してください。

対処 ●本製品に割り当て可能なIRQなどのリソースが不足していないかご確認ください。(右の【参考】参照)

対処 ●プラグ&プレイに対応していないボードがある場合には、そのボードのリソース割り当てを変更してください。(リソースの変更方法に関しては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。)リソース割り当ての変更ができない場合には、そのボードを取り外し、本製品と必要に応じて使い分けてください。

対処 ●他の周辺機器を拡張スロットに増設した場合は、増設した周辺機器と割り込みやI/Oポートアドレスなどが重複している可能性があります。増設した周辺機器の取扱説明書を参照して、設定を確認してください。

●本製品を使用中に動作が不安定になる

対処 ●本製品を接続しているPCIバススロットの位置を変えてみてください。

●ドライバのインストールに失敗し、再インストールしようとしたが、「新しいハードウェアの検出ウィザード」等の画面が表示されない

対処 ●[デバイスマネージャ]の「SCSIとRAIDコントローラ」下で「SCSIコントローラ」と表示されている場合はこれを削除して再起動します。

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト

<http://www.iodata.jp/lib/>

参考:割り込みの空きを作る

本製品が正常に動作しない場合は、割り込みIRQの空き(以下の【割り込み(IRQ)の空きについて】参照)が無いことが原因の1つとして考えられます。

注意 ●割り込み(IRQ)の空きについて

本製品はパソコン本体の割り込み(IRQ)を使用します。ただし、本製品はプラグアンドプレイ対応ボードで、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQ等)が割り振られるため、本製品側でIRQの指定ができません。よってIRQの空きの確認(パソコン本体側のリソース(IRQ等)の割り振り)が正常かなど確認が必要となります。

割り込み(IRQ)の空きの確認方法

※画面はWindows XPのものですが、特に指示のない限りWindows 2000でも手順は同じです。

- 1 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
- 2 本製品をPCIバススロットから取り外します。
- 3 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動後、[デバイスマネージャ]画面を開きます。(「デバイスマネージャ」画面の開き方については、表【3 確認する】参照)
- 4 [表示]メニューから[リソース(種類別)]をクリックします。
- 5 [割り込み要求(IRQ)]をダブルクリックして、割り込み(IRQ)の使用状況を確認します。

IRQ2,7,11は使用されていない

6 空きがない場合は、他の機能を外すなどして空きを作ってください。詳細はパソコンメーカーにご確認ください。

7 再起動して本製品、IDE機器を接続している場合はIDE機器が正常に動作するかご確認ください。

パソコン本体(マザーボード)のBIOSセットアップメニューで設定できる場合もあります。詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。また、実装しているボードの取扱説明書も参照してください。

OSインストールの準備をする

本製品に接続したハードディスクにOSのインストールおよび本製品ドライバのインストールを行う方法を説明します。

- 注意**
- 以下の方法で作業する場合は、OSの再インストールが必要になりますが、ご使用のパソコン本体によりOSの再インストール方法が異なります。eSATA接続ハードディスクへのOSの再インストールなどに関する「お問い合わせ」保証「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーでは致しかねます。ご了承ください。
 - 増設用のeSATA接続機器を起動用としてご使用になる場合は、環境の移行が完全に終了するまで、必ず元の環境を残してください。
 - OSをインストールする場合は、パソコンにフロッピーディスクドライブ、および、パソコン本体のIDEにCD/DVD-ROMドライブ（OSのCD/DVD-ROM読み取り用）が接続されている必要があります。
 - 起動用として設定後、インストールしたサポートソフトを削除すると、本製品が使用できなくなり、さらに、接続しているハードディスクもすべて使用できなくなります。（OSも起動できなくなります。）サポートソフト削除前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。
 - SCSIボードと併用する場合は、OSのインストールおよび本製品のセットアップが完了するまで、SCSIボードを取り外しておいてください。
 - 起動用としてストライピング(RAID)を構築する場合は、ストライピングを構築してからOSをインストールしてください。OSインストール後に、ストライピングを構築することはできません。（ミラーリングの場合、OSインストール後にミラーリングを構築することもできます。別冊【③リファレンス編】の【すてにお使いのHDDともう1台をミラーリング設定する】参照）
 - 起動用としていたストライピング(RAID)設定を解除すると、OSが起動できなくなります。RAID設定を解除する前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。（ミラーリングの場合、RAID設定解除後、そのまま起動用ドライブとして使用することができます。）
 - 起動用RAID構築後、インストールしたサポートソフトを削除すると、本製品が使用できなくなり、さらに、RAID設定しているハードディスクもすべて使用できなくなります。（OSも起動できなくなります。）サポートソフト削除前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。

■インストール時に必要なもの

- WindowsシステムCD/DVD-ROM
- フロッピーディスク(1枚:1.44MB)
(Windows Vista®/Server 2008の場合は不要)
「サポートソフト」CD-ROMの[DRIVER] - [インストールするOS]のフォルダ - [DRIVER]フォルダ内のすべてのファイルをコピーしたもの



エクスプローラで「すべてのファイルとフォルダを表示する」を設定してからコピーしてください。

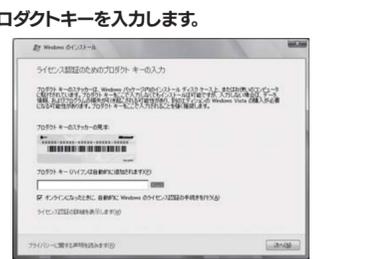
※エクスプローラの「ツール」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」メニュー内の「ファイルとフォルダの表示」で設定できます。

eSATA接続ハードディスクにOS (Windows Vista®/Server 2008)をインストールする

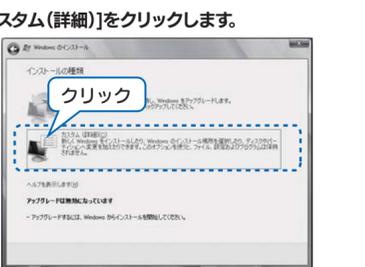
- 1 本製品にeSATA接続ハードディスクを接続後、パソコンを起動します。
- 2 WindowsシステムDVD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、Windows Vista®のインストールを開始します。
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。
- 3 以下の画面が表示されましたら、[次へ]をクリックします。



- 4 [今すぐインストール]をクリックします。

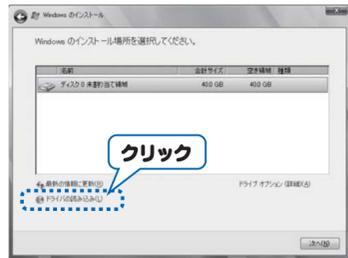


- 6 [楽項に同意します]にチェックして、[次へ]をクリックします。

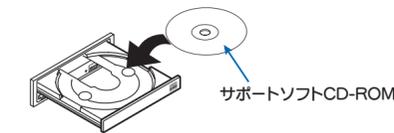


- 7 [カスタム (詳細)]をクリックします。

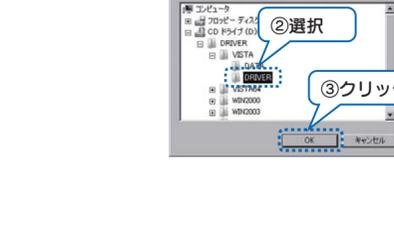
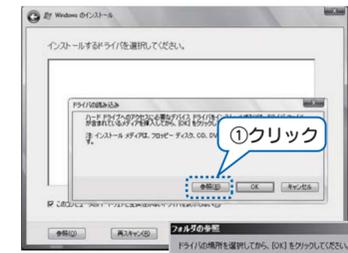
- 8 [ドライバの読み込み]をクリックします。



- 9 サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。



- 10 [参照]をクリックし、[DRIVER]フォルダを選択して[OK]をクリックします。



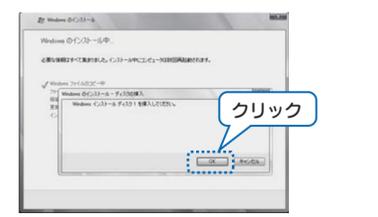
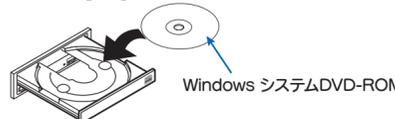
- 11 [Silicon Image Sil 3512 SATA RAID Controller]を選択して[次へ]をクリックします。



- 12 本製品に接続したeSATAハードディスクが表示されるので、インストールするディスクを選択して、[次へ]をクリックします。



- 13 Windows システムDVD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、[OK]をクリックします。



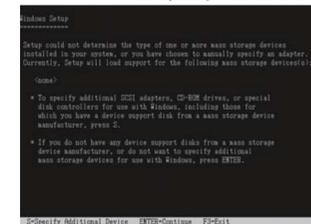
- 14 以降は画面の指示にしたがってインストールをすすめてください。

eSATA接続ハードディスクにOS(Windows XP/Server 2003/2000)をインストールする

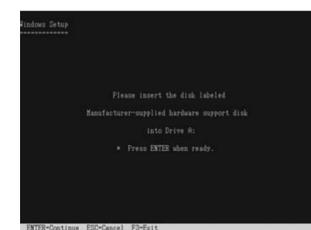
- 1 本製品にeSATA接続ハードディスクを接続後、パソコンを起動します。
- 2 WindowsシステムCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、Windows XP/Server 2003/2000のインストールを開始します。
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。
- 3 以下の画面が表示されましたら、[F6]キーを押します。



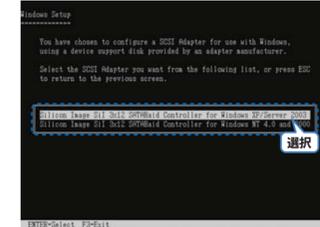
- 4 しばらくすると、下記の画面が表示されます。本製品のドライバソフトを読み込ませるために、[S]キーを押します。（S=Specify Additional Device）



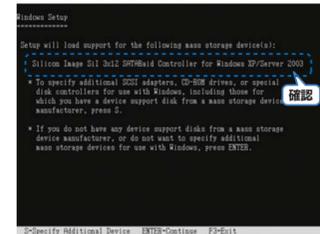
- 5 下記の画面が表示されますので、サポートソフトをコピーしたフロッピーディスクをセット後、[Enter]キーを押します。



- 6 以下の画面が表示されます。以下を選択して[Enter]キーを押します。
 - Windows XP/Server 2003の場合
Silicon Image Sil 3x12 SATA RAID Controller for Windows XP/Server 2003
 - Windows 2000の場合
Silicon Image Sil 3x12 SATA RAID Controller for Windows NT 4.0 and 2000



- 7 選択されたドライバの名称が表示されますので、間違いがないことを確認し、[Enter]キーを押します。



後は画面の指示に従って進めてください。

以上でインストールは終了です。セットしたフロッピーディスクを取り出します。OSが正常に起動できることをご確認ください。

注意

●起動させるには、本製品の[ブートON/OFFスイッチ]のON設定、および、eSATA接続ハードディスクへのOSインストール以外に、パソコン側のBIOS設定で起動優先設定の変更が必要な場合があります。詳細については、パソコンメーカーにご確認ください。

サポートソフトの削除

「サポートソフト」の削除方法について説明します。

●Windows Vista®/Server 2008の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]*をクリックします。
※クラシック表示の場合は、[プログラムの機能]アイコンをダブルクリックします。

- 2 「Windows ドライバパッケージ - Silicon Image(SI3112r)SCSIAdapter ...」を選択して、[アンインストール]をクリックします。



●Windows Server 2003/XP/2000の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]をクリックします。
- 2 「Windows ドライバパッケージ - Silicon Image(SI3112r)SCSIAdapter ...」を選択して、削除します。

2台のハードディスクでRAIDを構築したい場合

RAIDの設定はユーティリティ (RAID Configuration Utility) で行います。詳細は、別冊【③リファレンス編】を参照してください。